

東北における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：太田貴（やろっこ）

研究要旨

総計 172 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 40 件、WEB での配布が 132 件であった。

アンケートに回答したものは 180 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 133 名であった。96.2%が結果サイトにログインしていた。

HIV 陽性件数は 2 件、梅毒の陽性件数は 8 件（既往歴も含む）であった。検体を郵送した 133 名のうち、96 名（72.2%）はアンケート結果との連結に同意していた。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 96 名の属性については、35 歳未満が 60.4%を占めた。宮城県の居住者が 57.3%、岩手県の居住者が 10.4%であった。青森県、山形県もそれぞれ 8.3%の利用があった。これまでの検査経験がなかったものの割合は 28.1%であった。

過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 77.1%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 46.9%を占めた。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるが、保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

東北地域では、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査をコミュニティセンター ZEL での配布と WEB にて配布を行った。

B. 研究方法

コミュニティセンター ZEL では、本ゆうそう検査に関する説明事項を含むメッセージをやるっこの公式 HP、ポスター、4 種類の SNS、ブログ、フリーペーパーと公式 Twitter 等の SNS で配信した。またゲイ向けアプリの起動時広告も活用した。また北海道地域とも連携し、アプリ広告を活用した広報を行った。

検査キット受け取り希望者はコミュニティ

センターに直接来館し、その場でアンケート QR コードを提示し、自分のスマートフォンから答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとった。

また、インターネット上の広報からアンケートページにつなぎ、その後、郵送検査の自宅・郵便局での受け取りのページに進める WEB 完結型の方法を併用した。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C. 研究結果

1) 検査キットの配布日・配布件数

①対面配布

第 1 期：

2020 年 12 月 18 日から 1 月 18 日の 9 回
配布キット数 23 セット

第 2 期：

2021 年 2 月 11 日から 2 月 14 日の 4 回
配布キット数 17 セット

*会場の受け取りは 17 件：ほとんどが宮城県、

仙台居住者であった。

②WEB 配布

2月1日から3月15日

配布キット数 132セット

受け取り方法: 自宅または郵便局で受け取り

* 仙台市以外の居住者では、自宅・郵便局受け取りのニーズが高い。

表1 郵送検査利用者の概要

	地域	東北
	CBO	やるっこ
	コミュニティセンター	ZEL
a 配布数		172
b 受検者アンケート回答者数		180
c 利用者数; 郵送検査会社での受付数		133
利用率; 配布数に占める利用者数(c/a)		77.3%
d 結果確認者数; 結果画面のログイン記録 (割合 d/c)	128	(96.2%)
抗体検査結果		
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)	3	(2.3%)
f 陽性数 (割合 f/c)	2	(1.5%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *	1.4	(1.1%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)	9	(6.8%)
h 陽性数 (割合 h/c)	8	(6.5%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *	1.4	(1.1%)
i 追跡可能者数; 無料ID使用者数 (割合 i/c)	96	(72.2%)
j 追跡可能者実数; 無料ID使用者実数 (割合 j/c) **	91	(68.4%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数) に乗じて求めた。

** j)追跡可能者実数は、i)追跡可能者数から判定不能だった人を除いたもの。

*** すべての集計より再受検の重複は除いた。

2) 検体の送付状況とアンケートの結果

総計 172 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 40 件、WEB での配布が 132 件であった。

アンケートに回答したものは 180 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは 133 名であった。96.2%が結果サイトにログインしていた。

HIV 陽性件数は 2 件、梅毒の陽性件数は 8 件 (既往歴も含む) であった。スクリーニング陽性者 1 名の相談を受け付け、郵送検査の紹介状では医療機関に受診できないという事態に対応を行った。最終的には、検査提供会社や医療機関とも連絡を取り合いながら、受診可能な HIV 診療機関を紹介し、つなぐことができた。検査証明書は無記名で発行していたが、本来名前の記載が必要であることも明らかとなった。

外国籍者から、スクリーニング陽性 (確認検

査)の意味を確認したいと相談があった。また、医療機関の選択について、本人の希望を聞きながら対応を行った。

検体を郵送した 133 名のうち、96 名 (72.2%) はアンケート結果との連結に同意していた。

アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 96 名の属性については、35 歳未満が 60.4% を占めた。宮城県の居住者が 57.3%、岩手県の居住者が 10.4% であった。青森県、山形県もそれぞれ 8.3% の利用があった。これまでの検査経験がなかったものの割合は 28.1% であった。

過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 77.1% であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 46.9% を占めた。

D. 考察

今年度は新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査が休止になり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあった。

会場配布は第 1 期・第 2 期合計で 40 件であった。ZEL 利用者のみならず、初来館のものも総計 30 名いた。検査キットの会場配布がコミュニティセンターへの来館促進につながったと考えられた。アプリ広告は効果があり、1 週間で 1500 件の閲覧があった。

また東北地域は広範囲であるため、会場へのアクセスにも課題がある。そのため、自宅・郵便局受け取りのニーズが高いことが明らかとなった。

またこの配布の機会を通じて、キット受け取り者の多様な相談対応につながった。具体的には、PrEP、U=U、陽性判明時の相談、梅毒の治療などの相談が寄せられた。

E. 結論

東北地域で、ゆうそう検査キットの配布を実施した。ゆうそう検査キットをほぼ計画通りに実施できた。特に WEB での申し込み、郵便局での受け取りニーズが高いことが明らかとなった。

F. 研究発表

1. 論文発表

1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, AIDS

Care, 2020.

DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339

- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに來場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.
- 4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌, 22(3), 136-146, 2020

2. 学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.

3. 学会発表 (国内)

- 1) 井上洋士、後藤大輔、船石翔馬、高橋良介、塩野徳史、金子典代: 成人前期 (20 歳代) MSM での性行動と HIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第 34 回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表1 郵送検査キット利用別 基本属性および検査行動

	アンケート回答のみ		検査利用		合計		Pearson カイ2乗	
	n=84		n=96		n=180			
年齢階級								
	24歳以下	10	11.9%	13	13.5%	23	12.8%	0.46
	25-34歳	31	36.9%	45	46.9%	76	42.2%	
	35-44歳	27	32.1%	25	26.0%	52	28.9%	
	45歳以上	16	19.0%	13	13.5%	29	16.1%	
国籍¹⁾								
	日本	83	98.8%	94	97.9%	177	98.3%	1.00
	海外	1	1.2%	2	2.1%	3	1.7%	
居住地								
	北海道	1	1.2%	3	3.1%	4	2.2%	0.63
	青森県	8	9.5%	8	8.3%	16	8.9%	
	岩手県	6	7.1%	10	10.4%	16	8.9%	
	宮城県	42	50.0%	55	57.3%	97	53.9%	
	秋田県	4	4.8%	1	1.0%	5	2.8%	
	山形県	7	8.3%	8	8.3%	15	8.3%	
	福島県	10	11.9%	4	4.2%	14	7.8%	
	茨城県	0	0.0%	1	1.0%	1	0.6%	
	千葉県	1	1.2%	1	1.0%	2	1.1%	
	東京都	1	1.2%	2	2.1%	3	1.7%	
	新潟県	1	1.2%	1	1.0%	2	1.1%	
	京都府	0	0.0%	1	1.0%	1	0.6%	
	大阪府	1	1.2%	1	1.0%	2	1.1%	
	兵庫県	1	1.2%	0	0.0%	1	0.6%	
	広島県	1	1.2%	0	0.0%	1	0.6%	
性別								
	男性	84	100.0%	96	100.0%	180	100.0%	-
	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
セクシュアリティ								
	ゲイ（男性同性愛者）	61	72.6%	70	72.9%	131	72.8%	0.99
	バイセクシュアル（両性愛者）	21	25.0%	24	25.0%	45	25.0%	
	ヘテロセクシュアル（異性愛者）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	決めたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	レズビアン（女性同性愛者）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	その他	2	2.4%	2	2.1%	4	2.2%	
居住形態								
	独居	49	58.3%	61	63.5%	110	61.1%	0.54
	同居	35	41.7%	35	36.5%	70	38.9%	
	定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
これまでのHIV検査（エイズ検査）経験								
	ある	55	65.5%	69	71.9%	124	68.9%	0.42
	ない（今回が初めての検査）	29	34.5%	27	28.1%	56	31.1%	
過去1年のHIV検査（エイズ検査）経験								
	ある	22	26.2%	22	22.9%	44	24.4%	0.73
	ない	62	73.8%	74	77.1%	136	75.6%	
過去1年の受検場所²⁾（複数回答）								
	保健所	14	16.7%	16	16.7%	30	16.7%	1.00
	病院/クリニック	5	6.0%	3	3.1%	8	4.4%	
	郵送検査	5	6.0%	4	4.2%	9	5.0%	
	その他	2	2.4%	1	1.0%	3	1.7%	
過去6か月間の利用施設（複数回答）								
	ゲイバー	20	23.8%	25	26.0%	45	25.0%	0.86
	ゲイイベント	3	3.6%	2	2.1%	5	2.8%	
	ゲイショップ	4	4.8%	2	2.1%	6	3.3%	
	有料のハッテン場	18	21.4%	12	12.5%	30	16.7%	
	野外のハッテン場	11	13.1%	9	9.4%	20	11.1%	
	いずれもない	50	59.5%	60	62.5%	110	61.1%	
							0.76	

1) 海外の内訳は、アジア；中国、スリランカ 欧米；オーストラリア。

2) 病院/クリニックは、病院、クリニック、診療所、医院など。その他には公的な検査機関、コミュニティセンターでの検査、イベントでの検査、海外の医療機関が含まれる。

表2 郵送検査キット利用別 性行動および予防行動

	アンケート回答のみ n=84		検査利用 n=96		合計 n=180		Pearson カイ2乗
男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？							
よく/少し知っている	43	51.2%	51	53.1%	94	52.2%	0.88
全く/あまり知らない	41	48.8%	45	46.9%	86	47.8%	
過去6か月間に男性とセックスをしたことがありますか？							
ある	72	85.7%	76	79.2%	148	82.2%	0.33
ない	12	14.3%	20	20.8%	32	17.8%	
過去6か月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）							
彼氏や恋人	16	19.0%	21	21.9%	37	20.6%	0.71
友達やセクフレ	49	58.3%	55	57.3%	104	57.8%	1.00
その場限りの相手	37	44.0%	34	35.4%	71	39.4%	0.29
過去6か月間のインターネットやSNS、アプリを使って出会った人とのセックス経験							
ある	65	77.4%	61	63.5%	126	70.0%	0.05
ない	19	22.6%	35	36.5%	54	30.0%	
過去6か月間のハッテン場でのセックス経験							
ある	18	21.4%	15	15.6%	33	18.3%	0.34
ない	66	78.6%	81	84.4%	147	81.7%	
過去6か月間の複数人（3人以上）でのセックス経験							
ある	14	16.7%	7	7.3%	21	11.7%	0.06
ない	70	83.3%	89	92.7%	159	88.3%	
過去6か月間の相手にお金を払ったセックス経験							
ある	6	7.1%	1	1.0%	7	3.9%	0.05
ない	78	92.9%	95	99.0%	173	96.1%	
過去6か月間の相手からお金をもらったセックス経験							
ある	2	2.4%	2	2.1%	4	2.2%	1.00
ない	82	97.6%	94	97.9%	176	97.8%	
過去6か月間のセックス時のドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）使用経験							
ある	2	2.4%	1	1.0%	3	1.7%	0.60
ない	82	97.6%	95	99.0%	177	98.3%	
過去6か月間のアナルセックス時のコンドーム使用							
非常用	62	73.8%	55	57.3%	117	65.0%	0.06
常用	10	11.9%	21	21.9%	31	17.2%	
過去6ヶ月間にない	12	14.3%	20	20.8%	32	17.8%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」認知							
知っている	49	58.3%	63	65.6%	112	62.2%	0.36
知らない	35	41.7%	33	34.4%	68	37.8%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」使用意図							
服薬したくない/どちらかといえば	3	3.6%	10	10.4%	13	7.2%	0.17
服薬したい/どちらかといえば	46	54.8%	53	55.2%	99	55.0%	
知らない	35	41.7%	33	34.4%	68	37.8%	
過去6か月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」使用経験							
ある	6	7.1%	3	3.1%	9	5.0%	0.31
ない	78	92.9%	93	96.9%	171	95.0%	
性感染症既往（複数回答）							
梅毒	4	4.8%	6	6.3%	10	5.6%	0.75
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
B型肝炎	3	3.6%	3	3.1%	6	3.3%	1.00
C型肝炎	0	0.0%	1	1.0%	1	0.6%	1.00
クラミジア	5	6.0%	11	11.5%	16	8.9%	0.29
尖圭コンジローマ	4	4.8%	5	5.2%	9	5.0%	1.00
淋病	3	3.6%	3	3.1%	6	3.3%	1.00
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
毛じらみ	16	19.0%	19	19.8%	35	19.4%	1.00
性器ヘルペス	2	2.4%	1	1.0%	3	1.7%	0.60
その他	1	1.2%	1	1.0%	2	1.1%	1.00
いずれもない	62	73.8%	56	58.3%	118	65.6%	0.04

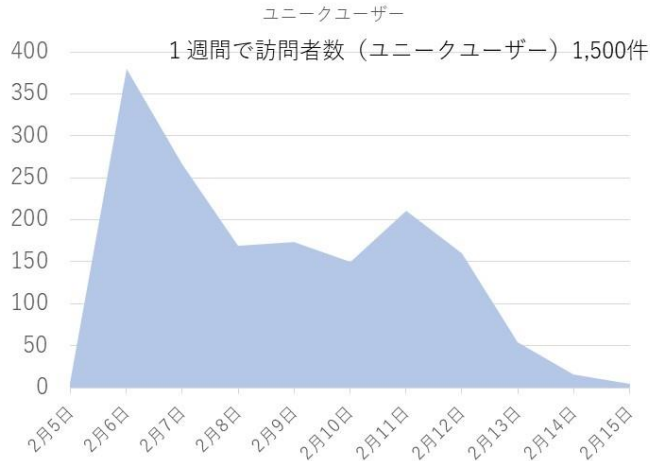
ゲイ向けアプリ9monstersの起動時広告の効果

北海道&東北

HIV・梅毒 郵送検査キット無料配布

北見	2/12(金)夜間	・2/13(土)午後
釧路	2/20(土)午後	・2/21(日)午後
旭川	2/21(日)午後	・3/14(日)午後
帯広	2/23(火祝)午後	・2/27(土)午後
仙台	2/11(木祝)~2/14(日)	郵送検査OK

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本郵政株式会社 郵便局



配布数 会場配布：community center ZEL

	日付	曜日	時間	配布数
第1期	12月18日	金	18:00-22:00	5
	12月19日	土	18:00-22:00	1
	12月20日	日	15:00-20:00	2
	12月21日	月	12:00-22:00	5
	12月27日	日	15:00-20:00	1
	1月15日	金	18:00-22:00	2
	1月16日	土	18:00-22:00	1
	1月17日	日	15:00-20:00	5
	1月18日	月	18:00-22:00	1
第2期	2月11日	木・祝	15:00-20:00	7
	2月12日	金	18:00-22:00	2
	2月13日	土	18:00-22:00	4
	2月14日	日	15:00-20:00	4
合計				40

ポスター SNS ホームページ
ブログ

Twitter
VERO
Tumblr
Instagram

フリーペーパー

仙台市内
商業施設

+

北海道&東北
ゲイ向けアプリ9monstersの起動時広告
北海道・東北地域限定 1週間
2月6日(土)~2月12日(金)

第2期 WEB受付も実施（自宅・郵便局での受取可に）



① 自宅or郵便局で受取
2月1日～3月15日 132件
※2月15日15時までで96件

② 会場受取
2月11日～14日 17件

東北各県から仙台までの距離・時間の参考

青森市ー仙台市	約360km	新幹線で2時間20分
秋田市ー仙台市	約240km	新幹線で2時間30分
盛岡市ー仙台市	約180km	新幹線で50分 車で2時間15分
山形市ー仙台市	約 60km	在来線で1時間10分 車で1時間
福島市ー仙台市	約 80km	新幹線で45分 車で1時間15分

ゆうそう検査 東北総括

・会場配布は第1期・第2期合計で40件

- 第1期：ZEL利用者やその周りの人 23件（うちZEL初来館14人）
- 第2期：アプリ（9monsters利用者）17件（うちZEL初来館16人）

・検査キットの会場配布がコミュニティーセンターへの来館促進（40人中30人が初来館）

・会場配布より、自宅・郵便局受取のニーズが高い

（全体 会場:WEB = 40:132 第2期 会場:WEB = 17:132）

- 東北という広範囲のため会場へのアクセスが影響？

・多様な相談につながった

- PrEP、U=U、陽性判明時の相談、梅毒の治療など